



波よひろがれ 速報 3 号

開催地企画 朗読劇

練習をやればやるほど「伝える」という事が難しいと感じた、準備は100%まではいかなかったが今の時点は出し切れた。中身が伝われば良いな。
朗読劇 リーダー

講師にインタビュー

●木下秀雄先生(大阪市立大学名誉教授)
大きく捉えると、保育と乳幼児の保育、教育に対してもう一度日本社会が見つめ直すこと。現実には合わないことも多いが、全否定するだけでは上手くいかない。合研は凄い仕組み。1000人集めるのもとても大変だが、合研は最大1万人、桁違いだ。

●ダニー・ネフセタイさん(木工家具作家)
敵はいません。人はみな平等。

●吉田真理子先生(三重大学)
なにかを伝えたいというよりも、自分の保育がこれでいいんだ、悩んでいることへの手がかりを掴んでほしいなと思いがら話しました。先生の方が子供のことをよく知っているの、共感してもらったり、ちょっとでも力が湧いてくれたらいいなという気持ちです。

参加者からの感想♪

どうして戦争をしちゃいけないの？

今まで知らなかった事がたくさん聞けてこれからの自分が物事を見る範囲が広がった。ダニーさんが9条を大切にされているのをすごく感じた。戦争を止めるには、外交力がとても重要な事もよく分かった。

兵庫 70代 元保育士

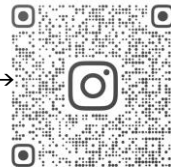
保育園 幼稚園の保護者会活動

おやじの会で父親が頑張っている。色々な保護者がいて家族背景も様々なので、スタンスを同じくするのは難しい。繋がりをいかに作るか、それが良いと子ども達にも良い形で伝わっていくことをすごく考える。



すべての子どもたちに 生きるよろこびを つながろう平和の種をまくために

Instagram
随時更新中！
QRコードでGO→



@HYOGOGOKEN



●ただじゅんさん
(舞台実演家、表現あそびファシリテーター)
講座が終わると「たださんが1番よろこんでいましたよ」と言われる。僕自身が楽しんでいるというバロメーターなのだろう。みんなと遊んで自分が楽しむことを基本にしている。

●中山徹先生(奈良女子大学名誉教授)
今の時代に1万人が参加する事は凄いこと。子どもを中心に保育を通して子育てをどうするかを、人が集まって議論する環境は貴重である。学んだ人が次世代に繋いでいる。

●木村彰宏先生(いたやどクリニック院長)
いろんな大人が関わって子どもを守り、育てていく事に尽きる。医者や医療が増えること、保育が増えることが両方なかったらいけない。6歳までの時期っていうのはすごく大事な時期なんです。思春期も大事だけど、やっぱりちっちゃい時に愛される体験が土台。一緒にやっていけたらいいですね。

●二本松はじめさん(つながりあそび・うた研究所)
とっても楽しかったです。子供たちがすごかったですよね。兵庫の保育が見えるっていうのかな、子どもに救われたっていうか、子どもが笑顔の姿見ると大人も元気になるのかなって。子どもの笑顔を守ることが平和に繋がるって実行委員長が言っていましたけど、そういうことが実感できる時間でした。

ワールド記念ホール



今回発表者で知り合いがいったり、保育園の先生からは是非とも言われたので応援しに来ました！熊本の時も参加させてもらい全国から集まって色々な人が熱い思いを持っていることを感じた。私も保護者として園の子たち、自分の子どもだけでなく他の人たちと交流し思いを共有できたらと思います。

山口県 30代 保護者

神戸市外国語大学

ゼロ・1・2歳児の発達と保育

去年まで大学で学んでたんですけど、改めて学べて知らなかったこととかも結構あったりとか、子どもを見てから学べてより深く自分の中に入ってるなっていうのもあって改めて思いました。 大阪府 新卒1年目

障害のある子どもの保育A

3人の先生方の報告に参加者みんな胸が熱くなりもらい泣きも…。子どもたちが毎日元気に、将来幸せに生きていけるように…そんな先生の思いに共感し、きっと日本の保育を導いてくれる！と確信しました。
奈良県 60代 民間認定子ども園 園長

絵本・ごっこ遊び・劇あそびB

1歳、2歳、4歳の絵本、ごっこ、劇づくりの実践が丁寧に聞けて良かったです。どの実践も子どもが主体で、子どもが思いを出し子どもが何度も他者と思いをつり合わせる場面がありました。行事のための取り組みではなく、仲間と困難をのりこえていく力がついていく実践に憧れました。 大阪 40代 保育士

神戸学院大学

4・5歳児の発達と保育

自分自身が保育士で担任をしているので、保育の力になるようなことを聞けたらと思って来させてもらいました。その中で僕が今回聞かせていただいたところは、自分たちのクラスにも還元できるような内容のことを聞かせていただいたので良かったなと思います。 30代 保育士

よりよい保育と園長の役割

自分は公立で働いているので公立の先生の話が聞けてよかった。悩みも共感でき、また頑張ろうかなと思いました。
徳島県 園長

心とからだの健やかな育ちをささえるために

子どもが産まれてアレルギーが将来出たときにわかっていただ方がいいと思った。北海道出身で花粉が今までなかったが兵庫県にきてから自分が花粉症になり、スギやダニだった。同僚の方もハチに刺されてエピペンを使ったという話を聞いてエピペンの使い方も知りたくて参加しました。

兵庫 30代 薬局勤務



0.1.2歳児のあそびと生活A

0歳児の担任をしていて、今年は全体的に月齢が低く、遊びや離乳食についても悩みがあったので参加しました。話を聞いて、とてもためになりました。担任間のコミュニケーションが大切ということも改めて感じしっかり話し合いをしようと思いました。
岐阜県 20代 保育士

保育施設での事故から考える

職員、保護者、子どもたちと参加しています。どんなふうに園内に報告しようかなとドキドキしています。広島県 60代 園長

「保育施設での事故から考える」

大井琢弁護士

保育事故に関して皆さんの知恵を借りなければいけないことがいっぱいある。我々、弁護士から見てどこが問題になっているかをお伝えした上で、皆さんから意見や体験談を聞けて今も続いている裁判に活かしていけるので良かった。



神戸大学
統合研究拠点



保育制度シンポジウム

1969年の第一回目から参加しています。当時は保育学生の1回生でした。年齢的にも今年が最後の参加になると思っています。時代の流れで色々変化してきているが、若い人の力は凄い！！若い世代に頑張ってほしいです！
神奈川県 70代 保育士